



笑顔で元気に長生きしよう

スマイルひの



日野町社会福祉協議会では、平成26年度から『認知症予防、脳いきいきゲーム、リーダー養成講座』を実施されています。この講座の修了生が集まり、団体や自治会へリーダーとして参加されるグループが『スマイルひの』の皆さんです。

今回は代表の竹村雅子さん(西大路1区)にお話しを伺いました。
失敗しても

気にせず笑い飛ばそう

脳いきいきゲームは、認知症になる前に低下すると言われる3つの能力(エピソード記憶・注意分配・計画力)と「笑い」という認知症予防の万能薬を随所に取り入れたゲームです。スマイルひのの皆さんは「一人で

も元気に笑顔で過ごしてもらえよう、健康寿命を延ばしてもらおうの目標に活動されています。「できなくてもいいです。脳トシは笑いが大事。できなかつたときに落ち込むのではなく、『できなかつたわあ』と明るく笑い飛ばしてもらえたらいいと思います」と話されました。

また、「和気あいあいと楽しんでもらうことも大事。地域等でみんなが集まるきっかけのひとつとして取り組んでもらい、多くの方に参加していただきたいです」とお話しいただきました。

参加者の笑顔が一番嬉しい

これまで講座を受けられた方は100名を超え、現在スマイルひのには20名の方が入っておられます。「受講したから参加しないといけないというものではありません。仕事や家族の介護等、それぞれに事情があるので、参加できる、しようと思つたときに参加していただきたいです」と竹村さん。「現在、ご家族の介護をされている方やこれからするかもしれない人なども受講してもらえれば、認知症の方や疑いのある方との接し方について学べますし、自分自身の認知症予防にもなるので、ぜひ参加してもらいたいです」と話されました。

また、「いろいろな地域や施設に行かせていただきますが、参加者の『楽しかった』の一言でこちらの方が嬉しくなります」と笑顔でお話しいただきました。

住民基本台帳の閲覧状況の公表

平成28年度における住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況を次のとおり公表します。(住民基本台帳法第11条第3項及び第11条の2第12項並びに住民基本台帳の一部の写しの閲覧及び住民票の写し等の交付に関する省令第3条の規定に基づく)

申出者の氏名	利用目的の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲
自衛隊滋賀地方協力本部	自衛官等の募集に伴う広報	平成28年5月10日	町内全域／平成10年4月2日から平成11年4月1日までの間に生まれた日本人男子
一般社団法人中央調査社会長 西澤豊	日本放送協会(NHK)「テレビ放送に関するアンケート」調査対象者抽出のため	平成28年6月17日	大字大窪、大字大谷／平成10年7月末日までに生まれた男女、20名
一般社団法人中央調査社会長 大室真生	時事通信社「住民意識調査」の対象者抽出のため	平成28年8月24日	大字川原、大字杣および大字杉／平成8年8月末日までに生まれた日本人男女、17名
(株)日本リサーチセンター 代表取締役社長 鈴木稲博	「青少年のインターネット利用環境実態調査」の対象者抽出のため	平成28年10月18日	中道1～2丁目、村井1～3丁目、大字大窪、河原1～2丁目、松尾1～5丁目／平成10年11月2日から平成18年11月1日までの間に生まれた男女、20人
自衛隊滋賀地方協力本部	自衛官等の募集に伴う広報	平成29年2月16日	町内全域／平成9年4月2日から平成10年4月1日までの間に生まれた日本人男子



ひのっこだより



桜谷こども園

教育
目標

未来を拓く 心豊かでたくましい子どもの育成
～人・自然・文化との豊かなかかわりを通して～



平成29年4月から旧桜谷幼稚園と旧保育所さくら園が一つになり日野町立桜谷こども園(幼保連携型)が開園しました。第1園舎は3・4・5歳児、第2園舎は0・1・2歳児が生活しています。

信頼できる保育者との関係を土台として友だちや地域の人へ目を向け、つながり、かかわる中で様々な体験からしなやかな心と体を育み、これからの未来を生きる子ども達がどんな困難も乗り越えていける“生きる力”につながる教育・保育をめざしています。



学びいっぱい



自然の中は驚きや発見がいっぱい。今日はどんな面白いことが見つかるかな…。小さな探検隊は興味津々。

笑顔いっぱい



いろいろな友だちとふれあい、様々な体験をして心も体も大きくなあれ！笑顔の花がいっぱい咲きますように！

友達いっぱい



友だちがいるから楽しい。友だちがいるから支え合える。友だちがいるから育ち合える。友だちっていいな！

日野町立保育所 こばと園

保育
目標

- ・ 明るく丈夫な子
- ・ 友だちとなかよく遊べる子
- ・ よく考える子

小学校へ向けて
生き抜く力の基礎を
育みます。

こばと園では7時30分から19時までの間、0～5歳児の子どもを保育しています。平成27年1月から、木造の新園舎での保育が始まりました。子ども達は、木の温かみのある園舎で、年齢別や異年齢の関わりを持ちながら、養護(生命の保持と情緒の安定)と教育を大切に保育の中で過ごしています。



長寿会交流



必佐地区長寿会の皆さんと交流会をして楽しいひとときを過ごしました。また、近くの公園や田んぼのあぜ道に散歩に出かけ、地域の方と触れ合っています。

給食



給食は園舎内で調理され、美味しいにおいが漂います。月齢別の離乳食やアレルギー対応もしています。昼寝の後にはお楽しみのおやつが待っています。

総合遊具 砂遊び



こばと園の園庭には総合遊具が設置され、子ども達は、登ったり、滑ったり、うんていをしたりと体を使って遊んでいます。4か所ある砂場では年齢別に分かれたり、時には異年齢で交わったりして、友だちと相談したり、試したりしながら楽しんでいます。

問い合わせ先 ◆ 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583